

# orinas

オリナス

vol.7 / 2022.11

京都大原記念病院グループ 広報誌



介護の日 | 特別座談会

つなぐ想いを、安心に変える。

Kyoto Ohara Memorial Hospital Group

つなぐ想いを、安心に変える。  
穏やかな生活の  
助け手となれるようになります。

高齢化などで介護を取り巻く課題が多様化するなか、誰もが介護を身近なものと捉え、それぞれの立場で考え、関わることが必要になつていま

こうした背景から平成20年に、厚生労働省において、11月11日を「介護の日」と定められました。

例年、この日に合わせて介護への理解を広めるための様々な活動が行われています。

今年も介護の日を迎えるにあたり、現場が抱く想いを言葉にしたいと特別座談会を開き、集まつたのはベテランから若手まで、介護に関わる4人の職員。

経験も立場も違うメンバーが語り合い、垣間見えた、つながる想いをお届けします。

利用者の安心した  
表情に、想いが  
云ひつゝ喜びを感じる

**機部** — 今日は皆さんが日頃、どんなことを思いながら仕事をしているのか。お話を聞いていきたいと思います。介護をやっていてよかつたと思う

安達——私はたくさんコミュニケーションを取っていたご利用者が、私の名前を憶えてよく口にしてくださる様子を見たり聞いたりすると、やつぱり嬉しいです。それと2年目になつて、管理栄養士の資格も活かしてできることが増えてきました。ご利用者の食事量の減少を把握した時にチームの看護師や介護の先輩、上司に伝えて対



# Care Worker Talk Session

Kyoto Ohara Memorial Hospital Group

「思えます。」

**矢野** 通所施設ではいろんな人とスピード感をもつて連絡を取りあわなくちゃいけないから大変ですね。

田邊一通所リハビリテーションに  
來た頃は、トラブルがあつても何が起  
きているかわからぬという状況も  
ありました。そこから少しずつ改善し  
て、今のリーダーや相談員もかなりス  
ピード感をもつて報告してくれるの

磯部　――話を聞いていると、若手からベテランまで常に利用者を中心に考える想いが受け継がれ、それが安心の提供につながっていると感じます



**介護福祉社士**  
**介護老人保健施設博寿苑**  
**通所リハビリテーション**

**田邊直樹**

**安達綾**  
入職 2 年目。介護老人保健施設 博寿苑  
健施設に勤務。管理栄養士の資格保有。

介護老人保健施設に15年間勤務。教育、採用、講演活動を経験して7年前から人事部。

A photograph of four staff members from the Shiga Prefecture Tourism Organization. From left to right: a man in a dark blue polo shirt, a woman in a dark blue polo shirt, a woman in a dark blue polo shirt, and a man in a white blazer over a light-colored shirt. They are all smiling and sitting on wooden chairs in front of large windows with a view of greenery.

矢野　——なんかいいですね。先日、お見舞いに来られていたご家族が「一緒に写真を撮つてよ!」って声をかけてくださいました。一生懸命関わつてきましたご利用者のご家族ですが、実はもう担当を離れているんですよ。介護は何が正解かわからないんですけど、そうして声をかけてもらえると「やつていてよかつた。間違つてなかつた」って思えますね。

磯部

の助け手」となれるよう、「一生懸命やった結果、ご利用者やご家族が声をかけてくださる。想いが届いたようで嬉しいですね。田邊さんは2人と少し

立場も違つてくると思ひますが、どうですか？

田邊　——ご利用者の良い表情が一番の楽しみなことは変わりませんね。ご利用者が何を望まれているのか。今の

利用者、ご家族、ケアマネジャー、セラピスト、看護師、介護職員などいろんな方と関わりながら情報を集めて、仮説を立て、プランをまとめて実行し、評価して見直す(介護過程)。いろんな立場の人が関わる調整は楽ではないですが、安心した表情だと、楽し

## 介護だからと、特別に大変な仕事だとは思わない。

**安達** — 新しく入所された方のところに、情報が少ないまま(日中と比べたら手薄になる)夜勤で入る時はすごく心配で。でも、自分がしっかり考えないといつも困るし、何が危険で何に注意が必要なのかをしっかりと考へないと、と思いますがまだまだ難しいです。

**田邊** — すごく大切なことですね。通所リハビリテーションは食事・入

浴・排泄の介助だけでなく、レクリエーションもある。加えて、150人のご利用者の顔と名前、送迎ルートも覚える。やることの幅は広いですね。ただ、他の仕事と比べて介護職員だけが特別に大変な仕事だとは思わないです。

私は以前に営業職をやっていたこともありますが、どんな仕事にもプレッシャーやトラブルはありますからね。

**機部** — とても共感します。テレビや新聞でも、どうしても介護が特別大変な仕事と感じる内容が多いです

が、そもそも仕事は大変なものですね。捉え方ひとつで大きく感じ方が変わりますね。

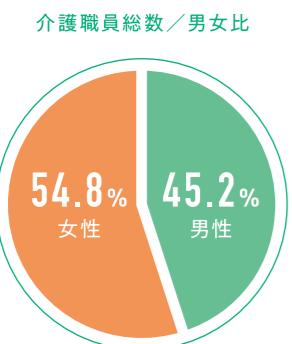
ようになるって、介護職の専門性が理解され立することだと思います。

職の専門性が理解され立すことだと想います。だから先輩の言葉は「熱いな!」って。「矢野なら共感して、やってくれる」って、夢を言葉にしてくれたことも嬉しかったです。医療・介護に幅広く取り組む京都大原記念病院グループだからこそ発信できることがありますね。

野なら共感して、やつててくれる」と話す言葉にしてくれたことも嬉しかったです。医療・介護に幅広く取り組む京都大原記念病院グループだからこそ発信できることがありますね。

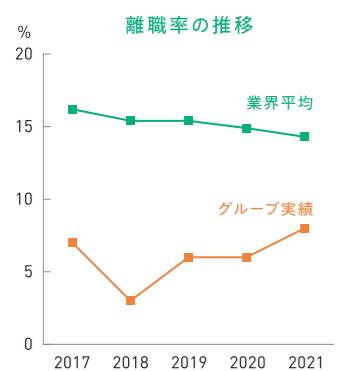
——新しく入所された方のところに、情報が少ないまま(日中と比べたら手薄になる)夜勤で入る時はすごく心配で。でも、自分がしっかり考えないと、と思いますがまだまだ難しいです。

**田邊** — すごく大切なことですね。通所リハビリテーションは食事・入



グループに在籍する介護職員は総数405名(2022年4月1日現在)。男性45.2%、女性54.8%。業界平均(男性:22.9%、女性:75.0%※)と比べ、男女比のバランスが特徴的。待遇面や、長期的キャリア形成をサポートした結果と考えています。

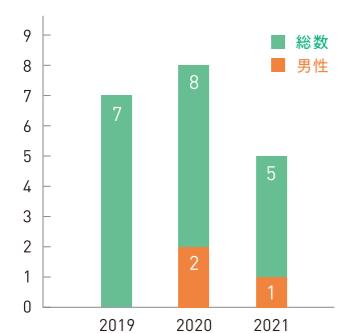
※平成29年度 介護労働実態調査結果(公益財団法人介護労働安定センター)、合計値が100%となるのは無効回答によるもの。



介護職員※1の離職率は直近5か年平均で6.0%。業界平均15.2%※2を大きく下回ります。長期的なキャリア形成の支援、産休・育休支援などライフステージに応じた安定した働き方をサポートしています。

※1 介護福祉士、介護士、介護補助、看護助手の総数。訪問ヘルパーを含む。※2 平成29年度介護労働実態調査結果(公益財団法人介護労働安定センター)

育休取得実績



グループとして“子育て支援”に力を入れる。例年、産休・育休取得者があり、復帰率は3年連続で100%。2020年からは男性職員の育休取得実績あり。



ます。その想いを共有できる職員を増やしたいし、(関わる事業所を)そういう場にしていきたいですね。

**安達** — 素敵ですね。私はもともと管理栄養士を目指して病院のインターンシップを探していた時、たまたま京都大原記念病院グループを知りました。話を聞くうちに、現場をしつかりと知ったうえで管理栄養士を目指したいと思うようになつて、入職しました。



**安達** — 実際、食事の様子だけを見ていると分からぬことがたくさんあることに気がつきました。例えば、食事がとれない場合、離床時間や、入浴のタイミング、排泄の状況、疾患の症状や服薬の状況など、食事以外の課題が影響しています。今はそう

いう知識をひとつひとつ増やして「食べる」以外の状況を意識して関わられる管理栄養士を目指しています。

**矢野** — 現場にこういう管理栄養士がいると心強いですね。

**田邊** — 想いはそれぞれ。でも、常に中心にご利用者がいて、それをチームでケアしているっていうのはみんな共通していると思いました。

**機部** — グループならではの働き方の特徴もありますよね。介護の現場を知って、自分の描く未来に向かって自己実現する。みんなの選択肢が増えていくといいなと思います。

**機部** — 今回の座談会で、京都大原記念病院グループの文化といいますか、介護が目指すものを共有できた気がします。(これからも、ぜひ大原の介護が目指すものや想いを発信していきましょう!)

**一同** — ありがとうございました。

## ドラマや映画に、当たり前に介護職員が登場するように。

**矢野** — 2年目の頃、先輩と話をしている時に「ドラマとかでお年寄りの最期っていう時に、医師と看護師と家族しか映らないでしょ。僕はそこに介

護職員を登場させたい」と話を聞かせてくれました。

**機部** — 確かに、介護施設はイメージしきづらいのでしょうか…。

**矢野** — そうかもしません。(大原ホームで)看取り期のケアを、介護職員が主になって対応することに驚かれるご家族も多いです。

ドラマや映画に当たり前に登場する

護職員を登場させたい」と話を聞かせてくれました。

**機部** — 確かに、介護施設はイメージしきづらいのでしょうか…。

**矢野** — そうかもしません。(大原ホームで)看取り期のケアを、介護職員が主になって対応することに驚かれるご家族も多いです。

ドラマや映画に当たり前に登場する

職の専門性が理解され立すことだと想います。だから先輩の言葉は「熱いな!」って。「矢野なら共感して、やつててくれる」って、夢を言葉にしてくれたことも嬉しかったです。医療・介護に幅広く取り組む京都大原記念病院グループだからこそ発信できることがありますね。



ようになるって、介護職の専門性が理解され立すことだと想います。だから先輩の言葉は「熱いな!」って。「矢野なら共感して、やつててくれる」って、夢を言葉にしてくれたことも嬉しかったです。医療・介護に幅広く取り組む京都大原記念病院グループだからこそ発信できることがありますね。



## ステイミュレーションセラピー学術大会 事務局キックオフ!

2023年10月に開催される第5回日本ステイミュレーションセラピー学会学術集会の事務局が始動しました。先立ち9月24日から2日間開催された鹿児島大会には関係者が視察に赴きました。各セッションで交わされる活発な議論を前に、大会長 児玉直俊医師(京都近衛リハビリテーション病院 院長)をはじめとする関係者一同、リハビリテーション医療の発展に向けて大会を成功させるべく気持ちを一つにしました。大会は2023年10月19日(木)、20日(金)に京都府立京都学・歴彩館で開催されます。

## 児玉直俊 京都近衛リハ病院 新院長が就任しました!

2022年10月1日付で、児玉直俊医師(前院長補佐)が新院長に就任いたしました。前院長 岡伸幸医師は、院長特別補佐として新体制を支えます。9月30日、垣田清人医師(京都大原記念病院 院長)同席のもと「就任式」を執り行い、岡医師に感謝の花束を贈呈、児玉新院長から職員へ所信表明が行われました。リハビリ専門病院としての「自信と誇り」「理念の体現」「あいさつの励行」「職員満足向上の約束」これら4つのメッセージが送られました。児玉新院長の就任記念インタビューはウェブサイトで公開しているほか、本誌次号でも特集でご紹介いたします。



## 京大病院と症例報告 | 若年女性のケース探る

京都大原記念病院グループは9月16日、京都大学医学部附属病院との症例報告会を開催しました。急性期治療に当たった京大病院と回復期治療を引き継いだグループの京都大原記念病院と京都近衛リハ病院とで、治療内容や患者の回復度合いについて情報交換することが狙いです。新型コロナウイルス感染防止のため、今回もオンラインで開催しました。取り上げた症例は近衛の「くも膜下出血後、失語症により動作学習に難渋した若年例」と、大原の「学齢期に脳動静脈奇形による脳出血を発症した症例に対してのアプローチ」の2例。ともに若年の女性を取り扱ったケースでした。



## グループの看護師に感謝状が贈呈されました!

おおはら雅の郷の藤塚貴子看護師がこのほど行った救命行為に対し、京都市消防局左京消防署から感謝状が贈られました。藤塚さんは7月24日午後5時40分ごろ、左京区一条寺宮ノ東町の路上に倒れ意識不明だった49歳男性に遭遇。119番通報し、救急車が到着するまでの間に心臓マッサージとAEDによる電気刺激を行いました。男性は病院に運ばれ一命をとりとめました。贈呈式は9月7日に同署で行われ、藤塚さんと、現場にAEDを持ってきた近くの男性店員に奥田浩喜署長から感謝状が手渡されました。奥田署長は「近くにいた人が素早く対応してくれて大変ありがたいことです」と述べました。



介護において画一的なケアは成立しません。また、治療とは違い、治ったかそうでないかを成果・結果として示したり、感じたりすることがとても難しいという側面を持っています。その前提で、介護の質を評価し、高めていく意識を醸成するために、感じたことや経験を言葉にしてアウトプットすることが重要なプロセスになると考えています。言葉を交わすなかで共感が生まれ、認められる。サービス提供の当事者にとってはそこで初めて、「ひとつひとつの「良い経験」が、はっきりと「成功体験」に変わります。そこが起点となり、想いがつながっていく。このプロセスが、結果的にご利用者ご家族の安心につながると信じています。介護現場の想いを守り、伝えていく仕組みをつくるために、15年間の現場経験を経て手を挙げ、現在の立場となりました。

基本は対話です。約10年前に作成した200項目の介護スキルを表記し



たOJTチェックシートを用いて年4回行う、新人と教育担当者の対話。どのようなキャリアビジョンを描き、そのために何が必要かを確認する年2回の上司との対話。実体験エピソード投稿する研修企画を通じたすべての職種との対話。介護基礎力、キャリアビジョン、実体験の視点から対話を重ねています。

現場一筋を貫く職員。現場を1年間経験し人事に転身した職員。同様に転身した後「視野が広がり、もっと現場

を知りたくなった」と再び現場にチャレンジする職員。介護から医療に舞台を移し、事務総合職として医療拠点のマネジメントを担う職員。対話と経験を重ねた職員は幅広く活躍しています。介護視点だけで介護を捉えるのではなく、複眼的に捉えて医療・介護サービスを発展させてきた実績と土壤に魅力を感じる若手職員も近年増えてきました。想いを守り、伝えていなくてても一人ひとりが未来を見失わない環境や仕組みを追い求めます。



来隣  
大原リバーサイドカフェ キリン

座談会会場  
はコチラ



京都大原記念病院グループ  
KYOTO OHARA HUMAN CARE NETWORK

orinas  
オリナス  
について

患者様、ご利用者、ご家族の心に寄り添い不安を取り除くために、職種や組織、医療や介護の枠にとらわれず、人や地域と織りなすつながりのなかで生まれる様々な場面を季節ごとに紹介します。

お問い合わせ

TEL／075-744-3121(代表)

FAX／075-744-3126

MAIL／kouhou@kyotoohara-gr.jp



WEB



Facebook